

沖縄研修会報告書(情報活用研究部会、安保研究部会、愛知研究部会)

日時・場所

- 日時:2025年1月11日(土)18:00~19:30、1月12日(日)09:00~11:00
- 会場:泉崎 503 会議室(みんなの貸会議室 那覇泉崎店)
- 参加者:大川、佐々木、磯部、柏田、村上、柿原、坊農

1. 研修会(1日目)概要

【講演 1】「武力紛争法から見たロシア・ウクライナ戦争」

発表者:広島大学 法学部 客員教授 佐々木孝博

主な内容

- 国連憲章に基づく武力行使の正当性や、ロシアによる国連憲章 51 条の主張に関する疑問。
- 戦争行為による民間被害(浮遊機雷、ダム破壊)、住民強制移動が国際人道法違反に該当。
- サイバー攻撃が物理攻撃と同視される国際的動き、核兵器使用禁止に向けた議論の進展。

質疑応答

- 国際法の制裁力不足に関し、経済制裁や国際世論による孤立化が効果的との見解。

【講演 2】「科学技術が民主主義をどう変えるか」

発表者:株式会社ソフト技研 村上恒夫

主な内容

- AIによる監視・選挙操作リスクと民主主義の基盤(国民主権・法の支配・公正な選挙)への脅威。
- Society 5.0 を活用した公平な社会構築、シンギュラリティ(AI の進化)による社会変革。

質疑応答

- AI の倫理判断による民主主義価値観への影響に関し、人間による監視と規制の必要性。
 - 技術が格差を拡大させるリスクについて、公正さを保つ政策や技術規制の重要性。
-

2. 研修会(2 日目)概要

【講演 1】「地域コミュニティでの災害対策」

発表者:大阪公立大学 都市科学・防災研究センター 客員研究員 坊農豊彦

※詳細割愛

【講演 2】「地域防災リーダー 防災士の役割と課題 ～福岡市の取組み事例から～」

発表者:株式会社ハートソフトウェア 代表取締役 大川敦

主な内容

- 防災士養成講座に 100 名以上が参加し、20 代～70 代と幅広い層が受講。特に 30～40 代女性が多い。
- 若年層の地域防災活動への参加が低迷し、意識向上が課題。
- 福岡市独自のハンドブック作成や WEB での情報発信を強化。

質疑応答

- 2017 年の地震被害が契機となり、防災士リーダー育成や住民意識向上が進む。
- 断層地帯でのマンション被害などが取り組み強化の背景。

【講演3】「地元創成の一考察」

発表者:大和大学 保健医療学部 看護学科 講師 柏田三千代

主な内容

- 地域の稼ぐ力を育て、人材活用と時代に即した政策推進。
- 新潟県での歩道整備(高齢者健康維持)、長崎県での離島医療者育成事例。
- フレイル予防や医療施設と住居近接による街づくり。
- 地域雇用創出による定住促進が、東京一極集中の是正に貢献。

質疑応答

- 地方活性化が若者定住につながる可能性はあるが、今後の成果検討が必要。
- 離島医療では設備・資金確保や施設連携に課題。

3. 全体所感

両日にわたり、国際問題、科学技術、地域防災、地方創生と幅広いテーマで有意義な意見交換が行われた。特に、地域防災や地方創生に関しては、今後の地域社会に密接に関わる重要課題であり、現場の具体的な取り組み事例が参考になった。

以上

